

令和3年度 新廃棄物処理施設建設候補地基礎調査業務委託 特記仕様書

1. 業務の目的

熱海市では現在、中間処理施設としてごみ焼却施設と廃棄物再生利用施設を併せ持つ『エコ・プラント姫の沢』が稼働しているが、本施設は供用開始から既に約20年が経過しており、老朽化対策等の検討が急がれている。

そこで本業務では、新規焼却施設候補地として挙げられている熱海市内の市有地について、新規焼却施設の建設に先駆け、地形状況や道路状況を把握するとともに、定性的・定量的な面により土地利用の適正について判断するための基礎資料を作成することを主な目的とする。

なお、建設候補地は別紙位置図の通りとする。

2. 業務内容

1) 基本条件の検討

別紙位置図（建設候補地）について、市有地の境界、自然環境保全、土地利用、土地の性状関係、インフラ設備の接続有無（計画確認含む）等の諸条件を取りまとめ、ハッチング図として整理する。

また、上位計画及び既存施設規模等から新規焼却施設における概算処理量を検討する。併せて、必要となる敷地面積、必要水量（工水、上水）、電力量等概略諸条件を算出する。なお、施設は2期分（新設時・更新時）の計画を前提とし、搬出・搬入路の確保についても留意すること。

2) 現地踏査

既存資料を基に現地踏査を行い、予定地周辺の地形・土地利用状況等を把握するとともに、工事用道路、場内・取付け道路、施工ヤード等の施工の観点から現地状況を把握・整理する。

3) 法的規制の課題・整理

関係する法的規制の課題を整理し、また、必要に応じて対策案を検討する。

4) 場内道路整備検討

① 設計計画

事業目的・趣旨を把握した上で、場内・取付け道路整備に係る道路計画を立案する。

② 比較案作成

場内道路の整備形状（県道取付け位置、場内の平面・縦横断計画）について比較案を作成する。場内は焼却施設、し尿処理施設、資源化施設が混在することから、取付け部からそれぞれの施設への動線を考慮したものとする。なお、取付け部の検討に当たっては、主要地方道熱海函南線の交通状況及び縦断勾配等幾何構造状況に留意すること。

③ 設計図及び関係機関協議資料作成

上記で検討された比較案に対して設計図を作成する。使用する地形図の縮尺は1/2,500

とし、平面図には社会的、自然的、文化的コントロール要因を明示するとともに、平面・縦断線形の要素等を記入する。また、主要な位置に対する標準横断図を作成する。加えて、県道管理者である静岡県熱海土木事務所との協議資料を作成する。

5) 概算工事費の算出

地形図及び上記基本条件を基に造成一般図を作成し、場内・取付け道路と併せて、概略数量、概算工事費を算定する。

6) UAV 撮影

整備後のフォトモンタージュを作成するための資料として、UAV（無人航空機）を用いた航空撮影（静止画5カット及び動画）を行う。なお、事前準備では、現地で適切な離発着地点を選定するとともに、安全面に十分留意した作業計画を立案すること。また、撮影方向については事前に市と確認を行うこととし、作成したフォトモンタージュの視点を示す写真として、整備予定地の直上からの全景写真を1枚撮影する。

7) フォトモンタージュ作成

上記6)で撮影した空撮図を基に、フォトモンタージュに使用する写真を監督員へ確認した上で、A4版で3枚作成する。

8) 報告書作成

上記項目で選定された事項より、土地使用に対して定量的、定性的な面よりとりまとめる。検討の過程及び根拠が分かるよう簡潔なとりまとめを行い、報告書を作成する。併せて、今後基本設計を行うにあたり必要となる作業を立案、提案するものとする。

9) 打合せ協議

業務着手時に1回、中間時に3回、納品時に1回の計5回を標準とし、業務の進行計画において適切な時期を選定しあらかじめ業務計画書に記載すること。

3. 成果品

- | | |
|------------|-----------|
| 1) 報告書 | A 4 版 2 部 |
| 2) 打合せ記録簿 | A 4 版 1 部 |
| 3) 上記電子データ | CD-R 1 式 |